

第2次

西尾市観光基本計画

NISHIO CITY
TOURISM
BASIC PLAN

〔概要版〕

2024年(令和6年)3月 西尾市

第1章

観光基本計画の目的と位置づけ

1-1 計画の目的

本市における観光の意義を認識したうえで、本市が有する地域資源を最大限に活かし、観光施策を計画的に推進するため、第2次西尾市観光基本計画（以下、本計画）を策定し、市民、事業者、観光協会、行政が一体となって取り組んでいきます。

1-2 計画の位置づけ

本計画は、「にしお未来創造ビジョン（第8次西尾市総合計画）」が掲げる将来都市像「もっとワクワクするまち にしお」の観光分野を実現する個別計画として、「あいち観光戦略2024-2026」（愛知県）と連携を図りつつ策定・推進します。

1-3 計画の期間

本計画の計画期間は、2024年度（令和6年度）～2033年度（令和15年度）の10年間としますが、必要に応じて中間年次に見直しを行います。

第2章

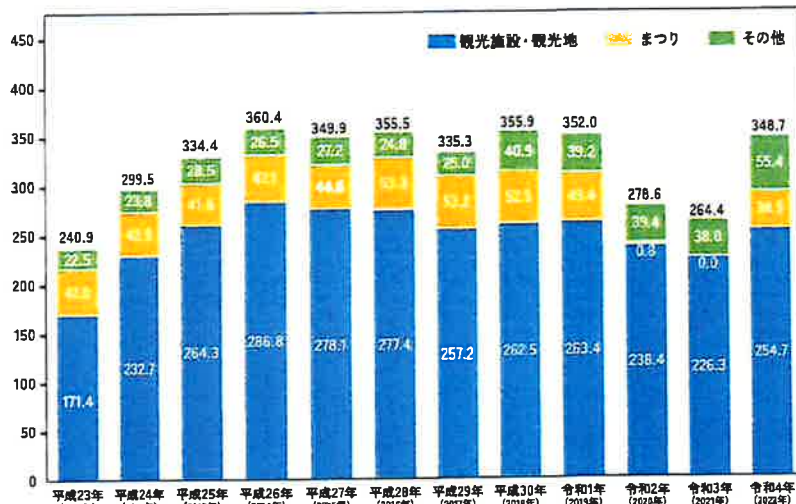
西尾市の観光推進に向けた現状と課題

観光入込客数の動向

観光入込客数の動向をみると、2022年（令和4年）は約348万人となっています。新型コロナウイルス感染症拡大による外出抑制もあり、2020年（令和2年）と2021年（令和3年）は減少傾向になっていましたが、コロナ禍前の数値に回復しつつあります。

《西尾市の観光入込客数の推移》

※西尾市観光文化振興課 調べ



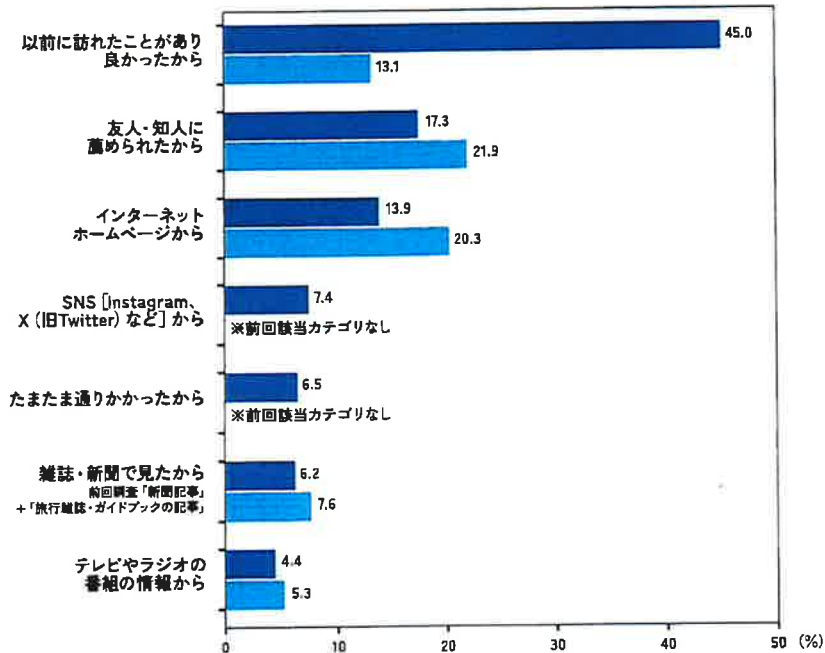
観光客の来訪きっかけ

市内の観光スポットを訪れた来訪者に西尾を訪れたきっかけをたずねたところ、最も多いのは「以前に訪れたことがあり良かったから」が45.0%、次いで「友人・知人に薦められたから」で17.3%、「インターネットホームページから」が13.9%となっています。

前回調査に比べて、「以前訪れたことがあり良かったから」が13.1%から45.0%へと31.9ポイント高くなっています。

《来訪のきっかけ》

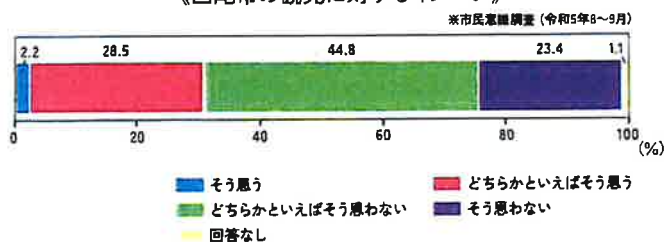
※来訪者調査 (令和5年5月)



▶ 西尾市は観光が盛んになりましたか？

市民の皆さんに対して、西尾市は観光が盛んなまちかをたずねたところ、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」をあわせて30.7%にとどまっています。

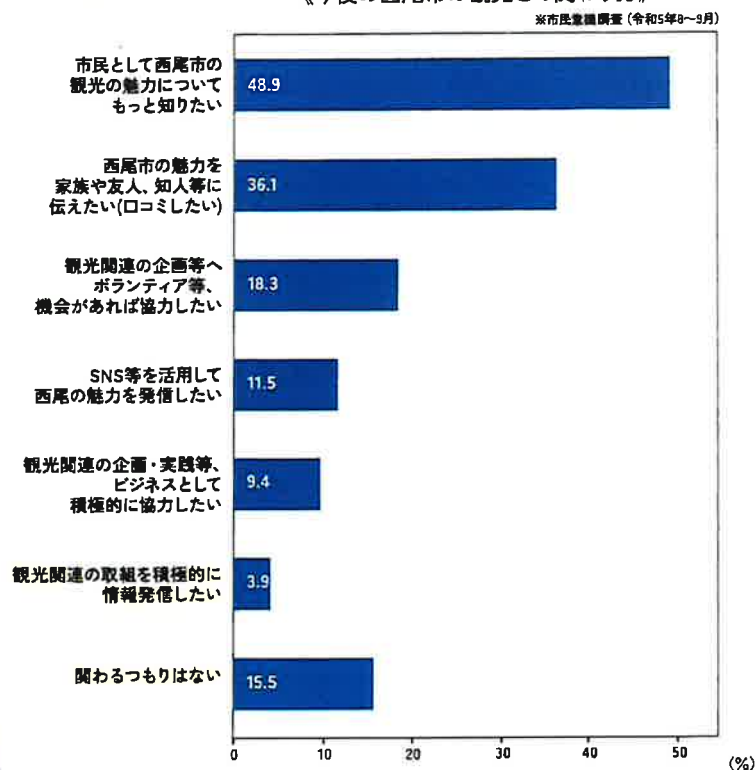
《西尾市の観光に対するイメージ》



▶ 今後、西尾市の観光にどのような形で関わりたいか

市民の皆さんに、今後の西尾市の観光への関わり方をたずねたところ、最も多いのは「市民として西尾市の観光の魅力についてもっと知りたい」で48.9%、次いで「西尾市の魅力を家族や友人、知人等に伝えたい（口コミしたい）」が36.1%、「観光関連の企画・イベント等へのボランティア参加など、機会があれば協力したい」が18.3%となっています。

《今後の西尾市の観光との関わり方》



西尾市の観光を取り巻く課題

① 豊かな観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出

② 周遊・滞在観光のための環境整備とコンテンツの創出

③ 新たな技術や媒体を活用した観光プロモーションの充実

④ 幅広い来訪者を受け入れる態勢の強化・拡大

第3章

基本理念と目標

3-1 基本理念

本市には、水と緑に恵まれた自然や温泉、先人から脈々と受け継がれてきた歴史・文化、全国的なブランド力を持つ食・産業、未来技術を導入した新たなコンテンツなど、多様で豊富な資源を有しています。

これらの資源をテーマごとにより深く楽しむこともできるし、様々な資源を巡れば新しい楽しみを得られることもできるのが本市の魅力です。

市外・県外から訪れる方々に、本市の多彩な魅力をどんどん知っていただくとともに、それぞれの資源を深く掘下げ、これまでとは違う楽しみ方をさせていただくことで、多くの来訪者が何度も足を運びたいくなるような観光の魅力にあふれるまちをめざし、本計画の基本理念を以下のとおり掲げます。

《にしお未来創造ビジョン（第8次西尾市総合計画）将来都市像》

もっとワクワクするまち にしお



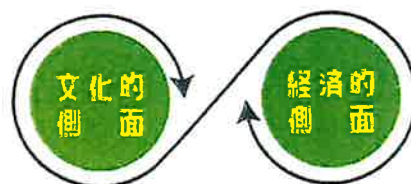
《西尾市観光基本計画 基本理念》

＼また訪れたい！／

新たな深みと広がりに出会うまち にしお

3-2 観光振興がめざす視点

- ① 認知度の向上と来訪動機拡大
- ② 魅力の深みと広がりによる観光活動の活性化



両側面を尊重しつつ、観光資源やターゲット、取り組む内容に応じて、どちらかに特化したり、バランスを重視したりしながら、持続的な観光活動を行うことで、「また訪れたい」と思う「西尾ファン」の増加につなげます。

3-3 数値目標

本計画の推進にあたり、関係主体が共有する目標数値として、年間観光客入り込み客数を次のとおり設定します。

《西尾市観光基本計画 数値目標》

年間観光入込客数

450万人（令和15年）

※西尾市調べ

3-4 基本方針

基本理念に基づき、次の5つの基本方針を掲げます。

基本方針
1

「西尾に来てよかった!」と言われるそれぞれの観光資源の魅力・深みを向上させる

山、川、海などの自然環境やお祭り、お城等の歴史文化、食やイベント、温泉など多種多様な観光の魅力さをさらに向上させるとともに、新たな資源を掘り起こします。

また、特許庁地域ブランドである「西尾の抹茶」、「一色産うなぎ」、「三河一色えびせんべい」をカラーコンテンツとして捉え、広く・深く知ってもらい、楽しんでもらえるような取組を行います。

基本方針
2

「巡りたい・また来たい、ずっと居たい!」と思われる、心に残る観光コンテンツを展開する

非日常を味わい、ゆっくり過ごすことができる心に残るツアーや体験プログラムなどのメニューを開発・充実させるとともに、ヘルスツーリズムやスポーツツーリズムなど時代の流れに応じた旅のスタイルを研究・普及・促進します。

また、いつ、どんな手段で、西尾に来て飽きずに観光できるように、観光ルートの形成など観光周遊を促す取組を行います。

基本方針
3

「こんなことできるんだ!」驚きと関心が沸き立つ観光プロモーションを展開する

県内外から広く西尾市に訪れてもらえるように、定期的に観光ニーズの収集・分析を行い、各世代の価値観や、西尾市の魅力が伝わるような情報発信・プロモーションを行います。

また、海外の販路開拓に向けて、世界各国から西尾に訪れてもらえるようなコンテンツづくりとプロモーションを行います。

基本方針
4

幅広い来訪者を受け入れる来訪基盤を整える

豊富かつ多様な観光資源の魅力さをさらに高めるため、主要観光施設の整備・改善などハード面から基盤整備を行うとともに、デジタル化にも対応した案内機能の充実に努めます。

基本方針
5

西尾市全体で「おきてなし!」みんなが満足できる受け入れ態勢を整える

西尾市一体となって観光客をもてなすことができるよう、行政や観光協会をはじめ、各種団体と連携を図り観光を推進します。加えて、本市だけでなく、エリアとして観光を楽しんでもらうため、周辺市町との連携をさらに強化します。

また、西尾の観光に関わる事業者や市民がさらに多くなるように、観光を支える人づくり、担い手をつなぐ仕組みづくりを行います。



第4章

施策の展開方向

1

「西尾に来てよかった!」と言われるそれぞれの観光資源の魅力・深みを向上させる

1

キラーコンテンツ(地域ブランドなど)による魅力アップ戦略

① ブランドの確立に向けた効果的なPR

② 西尾でしか味わえない魅力づくり

③ 特産品・お土産品の開発・磨き上げ

2

伝統文化の継承・発展と大規模イベントの盛り上げ

① 伝統行事の開催支援・PR

② 大規模イベントの開催支援・PR

③ 時代のニーズに合ったイベントの開催

3

多様かつ豊かな多様な資源の価値向上

① 自然環境資源の整備・活用

② 歴史・文化資源の整備・活用

③ 佐久島観光の推進

④ 観光開発区域の有効活用

4

新たな資源の掘り起こし

① 新たな資源の発掘

② MICE関連施策の推進

2

「巡りたい・また来たい、ずっと居たい!」と思われる、心に残る観光コンテンツを展開する

1

心に残る観光プログラムの開発

① 既存ツアーの魅力向上

② 魅力ある観光プログラムの開発

③ 社会潮流に応じた旅のスタイル・考え方の研究

2

豊富な資源同士をつなぎ、周遊を促すきっかけづくり

① 市内観光ルートの形成・PR

② 観光周遊の促進

③ 広域観光ルートの形成・交流の促進

3

観光時の移動の快適化・交通アクセスの充実

① 公共交通ネットワークの充実・利用促進

② 二次交通の利用促進



3

「こんなことできるんだ！」驚きと関心が沸き立つ観光プロモーションを展開する

1 時代に合ったPR・イメージアップ戦略

- ① 定期的な観光ニーズの収集・分析
- ② PR戦略の検討・コンテンツの作成
- ③ 事業者や他自治体と連携した観光プロモーション

2 ターゲットに合った多様な方法での情報発信

- ① ターゲットに応じた情報発信
- ② 多様な方法での情報発信
- ③ 多様な主体と連携して発信
- ④ 大規模イベントに合わせたPR

3 世界に伝えるインバウンド戦略の展開

- ① 海外プロモーション
- ② インバウンド向けの情報ツールの活用・情報コンテンツの充実
- ③ 海外からの旅行客を受け入れる態勢の整備

4

幅広い来訪者を受け入れる来訪基盤を整える

1 豊富な観光資源の保全と整備・改善

- ① 観光施設の運営・整備・改善
- ② 魅力的な景観整備
- ③ 団体客誘致の展開

2 観光案内機能の充実・デジタル化の推進

- ① 観光案内・サイン等の整備・魅力化
- ② 観光案内所・案内機能の充実
- ③ デジタル化・観光DXの推進

5

西尾市全体で「おもてなし！」みんなが満足できる受け入れ態勢を整える

1 おもてなしの心で観光を支える人づくり

- ① 観光を支える担い手の育成
- ② 市民・事業者等のまちへの愛着・誇り・おもてなし意識の醸成

2 市内外の担い手をつなぐ仕組みづくり

- ① 観光関連団体・事業者等によるネットワークの構築
- ② 観光振興活動への支援

3 ワンチームでまてなす観光推進体制の充実

- ① 観光協会・庁内観光推進体制の充実
- ② 広域連携体制の強化



第5章

観光推進のためのリーディングプロジェクト

1 ブランディングのためのイメージアッププロジェクト

キラーコンテンツ(地域ブランドなど)による魅力アップ戦略	地域ブランドの深みにふれようプロジェクト 定番土産をつくろうプロジェクト
時代に合ったPR・イメージアップ戦略	デジタルプロモーションプロジェクト にしおバズるプロジェクト
ターゲットに合った多様な方法での情報発信	届けたい人に届く情報発信プロジェクト 多様な方法での情報発信プロジェクト

2 ターゲット別観光商品の開発プロジェクト

心に残る観光プログラムの開発	ナイトツーリズム促進プロジェクト にしおでリラックス!リトリートプロジェクト 既存ツアーのブラッシュアッププロジェクト
豊富な資源同士をつなぐ、足りない観光ルートの形成	観光ルート開発・発信プロジェクト 周遊を促す仕掛けづくりプロジェクト 広域観光推進プロジェクト

第6章

計画の実現に向けた推進体制・役割

1 計画の推進体制と各主体の役割

本計画を効果的に推進していくため、庁内部署間の連携強化を図るとともに、西尾市観光協会をはじめとする関連団体や市内外の事業者、市民など多様な主体が、基本理念の実現に向けて、それぞれの役割を果たすとともに、状況に応じて連携し合い、観光振興に取り組みます。その一環として、定期的な進捗状況の確認や情報交換を行う場の提供を検討します。

また、歴史・文化やスポーツ・健康など他分野と一体的な取組を推進するTSCボードと協調し、幅広い地域資源やイベントを観光振興につなげます。

2 計画の進行管理

計画の進行管理にあたっては、上位計画であるにしお未来創造ビジョンと本計画の整合性をふまえて、計画(Plan)を実行(Do)、進捗状況を定期的に評価(Check)し、改善(Action)を繰り返す、PDCAサイクルを意識し、効果的な事業の実施を図ります。

西尾市観光基本計画[概要版]

2024年(令和6年)3月発行

発行:西尾市

編集:西尾市交流共創部観光文化振興課

〒445-8501 西尾市寄住町下田22番地

TEL:0563-65-2169(ダイヤルイン) FAX:0563-57-1317

<https://www.city.nishio.aichi.jp/>